



平成 29 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社フュートレック  
代表者名 代表取締役社長 浦川 康孝  
(コード 2468 東証第二部)  
問合せ先 常務取締役 管理部長 西田 明弘  
(TEL 06-4806-3112)

## 子会社の異動を伴う株式の譲渡（株式会社メディア総合研究所）、及び株式会社みらい翻訳の株式の譲渡、並びに特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 30 日開催の取締役会において、当社が 100%出資する連結子会社である株式会社メディア総合研究所（本社：東京都渋谷区 以下、「メディア総合研究所」）の全株式、並びに当社が 13%出資する株式会社みらい翻訳（本社：東京都渋谷区 以下、「みらい翻訳」）の全株式を、株式会社翻訳センター（本社：大阪府中央区 以下、「翻訳センター」）に譲渡することを決議いたしました。それに伴い特別利益が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式譲渡の理由

当社グループは、音声認識事業をはじめとして、翻訳事業やインバウンド事業等を展開しております。当社グループは、事業の柱である音声認識に続く基幹事業として、平成 26 年 10 月に、人手翻訳事業を主業務とするメディア総合研究所を株式取得により子会社化し、また同時期にみらい翻訳設立に資本経営参加等により、機械翻訳による言語バリアフリーを目指して活動を進めてまいりました。

近年、ニューラルネットワーク技術を取り入れた機械翻訳（以下、「NMT」）が急速に発展してきており、今までよりも早いスピードで翻訳ニーズやマーケットが変化していくことが予想されます。NMT では、如何に多くの翻訳データを有するかで性能が決まるため、翻訳サービスの向上には大規模な翻訳データが必要不可欠となります。メディア総合研究所は、当社子会社化後 3 年間をかけて培ってきた、同業他社より先行した機械翻訳に関する知見・サービス提供に関するノウハウ及び成果物を有しておりますが、目指す NMT の性能を実現するための翻訳データが十分ではありませんでした。

こうした中、当社及びメディア総合研究所は、日本最大規模の翻訳事業を有する翻訳センターと、事業連携の可能性についての協議を進めてまいりました。

翻訳センターは、医薬、工業・ローカライゼーション、特許、金融・法務分野での翻訳事業を軸に、通訳、派遣、コンベンション、通訳者・翻訳者育成などを展開している日本最大規模の外国語サービス企業です。

この3社協議と平行して社内で慎重に検討を重ねた結果、当社は翻訳事業の選択と集中を行うため、メディア総合研究所を翻訳センターに譲渡し、併せて当社の有するみらい翻訳の全株式(持株比率:13%)を翻訳センターに譲渡することが、当社グループの企業価値最大化になると判断いたしました。

当社は、人手翻訳については今後もメディア総合研究所との協力関係は維持しながら、多言語ガイドシステム U・feel、音えんぴつ、音声翻訳アプリなどインバウンド向け多言語サポートサービスの拡販を継続してまいります。

また、機械翻訳につきましては、高度なテキスト翻訳ではなく、インバウンド市場に向け当社グループの多言語音声認識と連動した音声翻訳事業の拡大に注力いたします。

このように、当社は翻訳事業を音声翻訳にかかる部分に集約し、2件の譲渡によって得られた資金を有効に活用し、AI、ロボット、車載、IoT 分野などで市場ニーズが高まっている音声認識事業に集中して研究開発及び投資を継続してまいります。

## 2. 異動する子会社の概要（メディア総合研究所）

(1) 名 称	株式会社メディア総合研究所		
(2) 所 在 地	東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 14 番 4 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 嶋田 和子		
(4) 事 業 内 容	翻訳事業、IT 事業、教育事業、出版事業、エンターテインメント事業、人材支援事業		
(5) 資 本 金	100,000 千円		
(6) 設 立 年 月 日	1993 年（平成 5 年）10 月 25 日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社フュートレック 100%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社が発行済株式総数の 100%を保有しております。（自己株式を除く）	
	人 的 関 係	取締役 1 名及び監査役 1 名を当社役職員が兼任しております。	
	取 引 関 係	当該会社は当社グループ会社に対して翻訳事業等を提供しております。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
純 資 産	276,384 千円	290,641 千円	313,772 千円
総 資 産	515,394 千円	512,634 千円	576,737 千円
1 株 当 たり 純 資 産	157,934.12 円	166,080.62 円	179,298.63 円
売 上 高	845,743 千円	1,468,122 千円	1,621,284 千円
営 業 利 益	67,476 千円	23,827 千円	34,353 千円
経 常 利 益	70,051 千円	23,301 千円	33,369 千円
当 期 純 利 益	41,600 千円	14,620 千円	22,950 千円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	23,771.87 円	8,354.66 円	13,114.71 円
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

注) 1. 株式会社メディア総合研究所は平成 26 年 10 月 1 日付で当社の連結子会社となりましたので、平成 27 年 3 月期は、平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 6 か月間であります。

### 3. 保有株式を譲渡する会社の概要（みらい翻訳）

(1) 名 称	株式会社みらい翻訳	
(2) 所 在 地	東京都渋谷区渋谷二丁目 22 番 3 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 栄藤 稔	
(4) 事 業 内 容	機械翻訳に基づく開発およびサービス提供	
(5) 資 本 金	495,000 千円	
(6) 設 立 年 月 日	2014 年（平成 26 年）10 月 30 日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社 NTT ドコモ (51.0%) 株式会社 シストラン・インターナショナル (18.0%) パナソニック株式会社 (18.0%) 株式会社 フュートレック (13.0%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社が発行済株式総数の 13% を保有しております。（自己株式を除く）
	人 的 関 係	当社の従業員が 2 名出向しております。（うち、1 名が取締役）
	取 引 関 係	当社は、当該会社の商品を販売しております。

### 4. 譲渡の相手先の概要（翻訳センター）

(1) 名 称	株式会社翻訳センター	
(2) 所 在 地	大阪府中央区久太郎町四丁目 1 番 3 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 東 郁男	
(4) 事 業 内 容	翻訳サービス業	
(5) 資 本 金	588,443 千円	
(6) 設 立 年 月 日	1986 年（昭和 61 年）4 月 1 日	
(7) 純 資 産	3,477,980 千円	
(8) 総 資 産	5,111,162 千円	
(9) 大株主及び持株比率	エムスリー株式会社	20.48%
	BNYM TREATY DTT 10	7.60%
	東 郁男	4.52%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4.11%
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	特記すべき事項はありません。
	人 的 関 係	特記すべき事項はありません。
	取 引 関 係	特記すべき事項はありません。
	関連当事者への該当状況	特記すべき事項はありません。

## 5. 移動する子会社の譲渡株式数、譲渡価額、譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	1,750株（議決権の数：1,750個）（議決権所有割合：100%）
(2) 譲渡株式数	1,750株（議決権の数：1,750個）
(3) 譲渡価額	550百万円
(4) 異動後の所有株式数	0株（当社所有割合：0%）

## 6. 日程

（メディア総合研究所）

(1) 取締役会決議日	平成29年10月30日
(2) 契約締結日	平成29年10月30日
(3) 株式譲渡実行日	平成29年11月15日（予定）

（みらい翻訳）

(1) 取締役会決議日	平成29年10月30日
(2) 契約締結日	平成29年10月30日
(3) 株式譲渡実行日	平成29年10月31日（予定）

## 7. 今後の見通し

本件の株式譲渡により、平成30年3月期第3四半期連結会計期間において、関係会社株式売却益として、約156百万円の特別利益が発生する見込みです。

なお、本件が当社の平成30年3月期連結業績予想に与える影響につきましては、今期の音声認識事業の研究開発費の追加等含め現在精査中であり、今後、詳細が確定次第必要に応じてお知らせいたします。

以上